

PSQL v13 R2 既知の問題

一般リリース – 2019 年 3 月

PSQL v13 R2 (build 13.30.030) には、リリース時に以下の既知の問題がありました。以前のリリースと比較して修正された不具合および機能強化については、エージーテック [Web サイト](#) で PSQL v13 R2 修正履歴を参照してください。

また、PSQL の今回のリリースや以前のリリースのリリースノート、および修正プログラムのリリースノートをご覧になり、広範な修正や機能強化を確認されることをお勧めします。いくつかは、ここに記載されている問題に対処している可能性があります。

問題はそれぞれ、次の各見出しセクションに基づいてグループ分けされています。これらは日付の新しい順に記載されています。

- 「[クライアント リクエスター / 通信](#)」
- 「[インストール](#)」
- 「[MicroKernel エンジン](#)」
- 「[SQL および Reporting Engine](#)」
- 「[各種ユーティリティ](#)」
- 「[Unicode](#)」
- 「[ActiveX](#)」
- 「[DTI](#)」
- 「[DTO](#)」
- 「[JCL](#)」
- 「[OLEDB](#)」
- 「[PDAC](#)」

クライアント リクエスター / 通信

追跡番号	説明
PSQL-5102	クライアントとサーバー間の通信セッションが有効でなくなった場合に、ステータス 95 ではなくステータス 170 が返されます。

インストール

追跡番号	説明
PSQL-6027	<p>Windows IoT Core システムでは、IoT Core のデフォルト アカウントが製品キーの場所書き込みできない場合、Zen のオフライン ライセンス認証に失敗します。</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> IoT Core のプロンプトで、次のコマンドを実行します。 <code>clilcadm -g <製品キー> C:%Data%Users%DefaultAccount%Documents%auth.ath.</code> これは推奨のパスですが、DefaultAccount が読み取りおよび書き込みアクセスができる場所であればどこでも auth.ath を書き込みます。 <ul style="list-style-type: none"> コマンドを実行したとき、アクセスが拒否されることがあります。アクセスを有効にするには、プロンプトの指示に従ってください。 clilcadm -g の実行が失敗した場合は、次のような絶対パスを入力します。 <code>"C:%Program Files%Actian%PSQL%bin%clilcadm.exe" -g <製品キー> C:%Data%Users%DefaultAccount%Documents%auth.ath</code> auth.ath ファイルを、フラッシュ ドライブなどの手段を介して、オフラインの IoT システムからオンライン システムにコピーします。 オンライン システムで licgetauth auth.ath を実行し、auth.pky ファイルを生成します。 この auth.pky ファイルを IoT システムのディレクトリ、たとえば C:%Data%Users%DefaultAccount%Documents など、DefaultAccount が読み取り書き込みアクセスができるディレクトリにコピーします。 clilcadm -a C:%Data%Users%DefaultAccount%Documents%auth.pky を実行します。
PSQL-5556	<p>以前に別の PSQL エディションをインストールし、ライセンスの認証を解除しないでアンインストールした非常に高速なマシンでインストールを実行した場合、そのマシンにライセンスが適用されると、インストールが応答しなくなることがあります。それでも PSQL は正常にインストールされるので、License Administrator ユーティリティを使用してライセンスを認証することができます。</p>
PSQL-5131	<p>128 バイトより長いインストール先パスを使用してカスタム インストールを行うと、MicroKernel が応答しなくなります。</p>

MicroKernel エンジン

追跡番号	説明
PSQL-5109	<p>クライアントによって排他モードで開かれたファイルのロール フォワードは、エラー 88 で失敗します。</p>
PSQL-5107	<p>Windows Vista、Windows 2008、およびそれ以降の Windows バージョンで 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85 (ファイルはロックされている) になります。2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85 (ファイル ロック) になります。たとえば、1 つのアプリケーションが次のファイルを開き、</p> <p><code>C:%ProgramData%Pervasive Software%PSQL%Demodata%Class.mkd</code></p> <p>別のアプリケーションが次のファイルを開くとします。</p> <p><code>C:%Users%All Users%Pervasive Software%PSQL%Demodata%Class.mkd</code></p> <p>データベース エンジン はステータス 85 を返します。</p> <p>回避策：同じパスを使用してファイルを開きます。</p>
PSQL-5022	<p>読み取り専用の仮想ディスクにあるファイルに対して Btrieve の Update オペレーションを実行すると、予想されるステータス 46 ではなくステータス 94 が返されることがあります。</p>
PSQL-4662	<p>キーを削除した直後にファイルを最適化しようとする、ステータス 125 が返されることがあります。</p>

SQL および Reporting Engine

追跡番号	説明
PSQL-5515	Reporting Engine に接続されているクライアントは、ストレージ エンジンを停止して再起動した場合、データにアクセスできません。
PSQL-5116	異なるエンコードのクロス データベースから引き出されたデータは破損しています。
PSQL-5113	PCC で、既存のセキュリティ保護された DDF を指すデータベースを作成するとき、[辞書ファイルの作成 (存在しない場合)] が選択されていると、ステータス 7011 が返されます。
PSQL-5111	ビューを編集した場合、そのビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。
PSQL-4980	古い 3.x 形式の DDF から一部のインデックス定義が正しくエクスポートされないことがあります。
PSQL-3907	同じ名前の列がある複数のテーブルにアクセスするクエリで、その列のエイリアスがクエリに指定されていないと、正しくない結果になる場合があります。

各種ユーティリティ

追跡番号	説明
PSQL-5135	DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。
PSQL-5134	PCC は、記述が不十分なストアド プロシージャの実行によって導入された無限ループを停止できません。
PSQL-5133	DDF Builder では、インターナショナル ソート規則 (ISR) を使用するファイルのテーブル定義を作成できません。DDF Builder は現在、警告を発しません。 データ ファイルが ISR を使用しているかどうかを判断する場合、キーに ACS フラグの 1 つがあるときは、その ACS の 265 バイトを調べます。 <ul style="list-style-type: none"> 識別バイトが 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 識別バイトが 0xAD の場合は、ロケール固有の ACS です。 識別バイトが 0xAE の場合は、ISR です。
PSQL-5132	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナー ネームが提供されても " 不正なオーナー ネーム " メッセージを返すことがあります。 回避策：オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
PSQL-5130	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
PSQL-5129	PCC で、保護されたデータベースの [バウンド] プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。
PSQL-5126	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
PSQL-5124	DDF Builder は、検出できない Btrieve ファイルを「SQL テーブル」に表示しません。
PSQL-5123	Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。
PSQL-5122	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作しても何度も要求します。
PSQL-5119	bcfg の [最小の状態に戻す待ち時間] の範囲の説明が間違っています。
PSQL-5118	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。
PSQL-5117	TIMESTAMP および DATETIME の値 '1900-01-01' は、PCC では '0000-00-00 00:00:00.000' と表示されます。

PSQL 既知の問題

追跡番号	説明
PSQL-5114	PCC は、PCOMPRESS、DATEPART、SOUNDEX などの、新しい PSQL のキーワードを強調表示しません。
PSQL-4257	PCC は、プロシージャを作成する際、プロシージャに含まれるコメントに単語 <i>end</i> が入っていると、<EOF> エラーを返します。
PSQL-3751	Monitor では、ADO.NET を使用した SQL 接続は、デフォルトのインターフェイス名またはユーザー指定のアプリケーション名が表示されません。

Unicode

追跡番号	説明
PSQL-5805	アプリケーションが ICU (International Components for Unicode) 照合順序のファイルを読み取ろうとした場合、キャッシュ エンジンがステータス 135 " 指定された国際的なソート規則 (ISR) テーブルは破損しているか、または不正です " を返します。

ソフトウェア開発キット (SDK)

ActiveX

追跡番号	説明
53785	ActiveX は DateTime データ型をサポートしません。
53784	ActiveX は GUID/UNIQUEIDENTIFIER データ型をサポートしません。
53378	ActiveX は BigInt 値の全部の範囲をサポートしません。
53342	ActiveX コントロールは LONGVARCHAR 型フィールドを更新しません。既存のデータを読み取り、フィールドの変更や、更新 / 挿入を行うとステータスは成功を返しますが、フィールドは変更されていません。
52378	リモートホストの接続および切断の後でも、VAccess プロパティは前に接続していたデータベースのテーブル名と選択したフィールドを表示します。

ADO.NET

追跡番号	説明
PSQL-6439	ADO.NET におけるメタデータ呼び出しは、BIGIDENTITY データ型について正しい ColumnSize および DataType を返しません。

Btrieve2

追跡番号	説明
PSQL-6256	FileCreate() では、作成時に 1 つの単一セグメント キーしか含めることができません。複数セグメント キーや追加キーが必要な場合は、IndexCreate() を使用して追加する必要があります。

DTI

追跡番号	説明
55423	PvCopyDatabase() は、参照整合性 (RI) が設定されているデータベースでは RI レベルに関係なく機能しません。PvCopyDatabase API は RI 制約を持つテーブルを適切にコピーできません。コピーされた RI 制約を持つテーブルは、開こうとするとステータス 73 を返します。

DTO

追跡番号	説明
52548	DTO は以下の DTI 機能を持ちません。PvGetTableStat()、データベースの Btrieve セキュリティ ポリシーを示すデータベースフラグ (P_DBFLAG_DBSEC_AUTHENTICATION、P_DBFLAG_DBSEC_AUTHORIZATION)。

JCL

追跡番号	説明
61583	JCL は、DTI とセキュリティで保護されたデータベースに対して同じ資格情報を使用します。そのため、接続時に失敗し、ステータスコード 20 を返すことがよくあります。

OLEDB

追跡番号	説明
55994	PSQL OLEDB プロバイダーは " 混合 " モード セキュリティが設定されたデータベースでは動作しません。 回避策 : MSDASQL プロバイダーを使用してください。

PDAC

追跡番号	説明
PSQL-4598	セキュリティで保護されたデータベースでは、PDAC アプリケーションは、すべてのテーブルにグローバルに付与される権限ではなく、対象テーブルに対する明示的な権限がユーザーに付与されている場合のみ、テーブルから行を削除できます。
59437	PDAC の PvTable は、v2 メタデータを使用するテーブルをリストすると、ステータス 12 を返します。
57363	PDAC は BIGINT データ型をサポートしません。 BIGINT データ型は 8 バイトの整数です。PDAC は BIGINT を SQL_DECIMAL にマップして、SQL_C_CHAR 型としてデータを操作します。
48812	DefaultDB にセキュリティが設定されていると、PDAC はデータベースに接続できません。